

到達目標

基本理念を実現するために、次の2つを指標とし、5年後の目標値を設定します。

指標	前回計画 現状値 2010 (平成22) 年度	現状値 2015 (平成27) 年度	目標値 2020 (平成32) 年度
「多文化共生」という言葉の認知度	26.7%	29.6%	50.0%
外国人市民に親しみを感ずる日本人市民の割合	19.7%	24.7%	50.0%

湖西市の目指す多文化共生のまちづくり

多文化共生社会の実現のためには、日本人市民も外国人市民も、互いの文化や習慣の違いを認め合い、尊重し、地域の住民として助け合うことが大切です。地域社会や事業者・行政などがそれぞれの役割を果たし、連携しながら取組を実施し、多文化共生のまちづくりを実現していきます。

【地域社会】

外国人市民との交流の機会を充実し、外国人市民も日本人市民と同じ地域住民として、すべての人が能力を發揮できる多文化共生の地域づくりを進めることが期待されます。

【事業者】

外国人労働者の人権を尊重し、安定した雇用を図ることや、安心・安全な労働環境づくりなどが期待されます。

多文化共生のパートナー

【行政】

市は、多文化共生に関する啓発を行い、事業者や自治会・国際交流協会などと連携し、より効果的な多文化共生の取組を行います。

第2次湖西市多文化共生推進プラン

2016～2020

基本理念

みんなが笑顔でくらす 多文化共生のまちづくり

本市は、自動車関連産業の集積が進むことによって発展し、その企業の多くが外国人労働者を受け入れてきました。これらの外国人は、本市の経済発展を支えるうえで重要な存在となっています。外国人を単に一時的な滞在者や企業で働く人として捉えるのではなく、地域の住民として認めることが重要です。そこで、日本人・外国人という枠を取り払い、誰もが地域の住民として笑顔でくらすことができるまちづくりを目指していきます。

目指すべき方向性

基本理念である「みんなが笑顔でくらす多文化共生のまちづくり」を実現するために必要な、取り組むべき方向性を次の3つとします。

- ともに学ぶまち
社会・文化・言語をともに学びながら、互いを理解し、共生の意識豊かなまちづくりを進めます。
- ともに生きるまち
誰もが湖西市民として、地域の人々と安心・安全に過ごすことができるまちづくりを進めます。
- ともに創るまち
互いに多様性を認め、尊重し合いながら地域の一員として参画できるまちづくりを進めます。

計画の期間

2016(平成28)年度から2020(平成32)年度までの5年間とし、必要に応じて見直しを行います。

概要版





基本理念

目指すべき方向性と3つの柱

基本施策

みんなが笑顔でくらす
多文化共生のまちづくり



ともに学ぶまち

社会・文化・言語をともに
学びながら、互いを理解し、
共生の意識豊かなまちづく
りを進めます。

ともに生きるまち

誰もが湖西市民として、地
域の人々と安心・安全にく
らすことができるまちづく
りを進めます。

ともに創るまち

互いに多様性を認め、尊重
し合いながら地域の一員と
して参画できるまちづくり
を進めます。

I

コミュニケーションの支援

重点

1 情報提供の充実

2 日本語や日本社会に関する学習支援

II

生活の支援

重点

3 教育環境の整備

4 労働環境の整備

5 安心してらせる環境づくり

6 防犯・交通安全・防災の意識啓発

III

多文化共生の地域づくり

重点

7 多文化共生の意識づくり

8 地域社会への参画促進